



石川県議会
マスコットキャラクター

石若丸
いし わか まる

県議会だよ いしかわ

県内の小中学生が 議場の見学や 議員との交流を通して 議会の役割を学びました

石川県内の子どもたちに県議会の仕組みや議員の仕事について理解を深めてもらおうと、「県議会教室」を開催しました。

毎年恒例となった小学生向けの「ふれあい親子県議会教室」に加え、今年初めて中学生向けの「中学生夏休み県議会教室」も開催し、8月8、9日は小学4～6年生と保護者の67組が、10日は中学生22人がそれぞれ参加しました。

参加者は議場や議長室を見学したり、議員に直接質問をしたりと、さまざまな学びの機会を得ました。終了後、「18歳になったら投票に行きたい」「議長や議員の席に座るなど貴重な経験ができてうれしかった」といった感想が寄せられました。

議場で開催する本会議は傍聴することができます。県議会事務局までお気軽にお問い合わせください。



議場で記念撮影をする参加者
写真①②は「ふれあい親子県議会教室」に参加した小学生
写真③は「夏休み中学生県議会教室」に参加した中学生



県議会だよ
いしかわの
感想をお寄せください！

二次元コードからアクセスし、
回答をお願いします。



今号の
トピックス

- 県議会ダイジェスト Vol.2
- 県議会活動紹介

※各議員の二次元コードから質疑の映像をご覧いただけます。

和田内 幸三

わだうち こうぞう

9期 自由民主党



能登の振興について

Q さまざまなニーズに対応した能登への観光誘客を強力に図り、能登の活性化につなげていくべき。

A 今年度から、100億円の文化観光推進ファンドを活用した文化観光コンテンツの造成支援や和倉温泉での高付加価値なインバウンド向け旅行商品の造成にも取り組んでいる。切れ目なく誘客キャンペーンを展開し、来春の新幹線県内全線開業効果を最大限に活かして、能登地域への誘客につなげていきたい。



米澤 賢司

よねざわ けんじ

7期 自由民主党



デジタル化について

Q 行政経営プログラム2020の計画期間終了前に、「デジタル行財政改革」の視点を取り入れた新たなプログラムを策定してはどうか。

A 国が検討に着手した「デジタル行財政改革」の視点は重要と考えている。新たな行政経営プログラムの策定については、国の動向も見極めながら、現行プログラムの計画期間最終年度である令和6年度を待たず、スピード感を持って準備に取りかかりたい。



宮下 正博

みやした まさひろ

6期 自由民主党



農林水産業について

Q 「百万石の極み」に認定されたアワビ、サザエなどの海女採り水産物を全国へPRし、知名度と所得の向上へつなげる取り組みが重要だと思うがどうか。

A 輪島の海女漁は国の重要無形民俗文化財にも指定され、石川県の宝であると認識している。海女の皆さんが将来にわたって漁に従事できるよう、伝統的な漁法で採られた海女採り水産物の魅力を積極的にPRし、販売の促進を図っていきたい。



佐藤 正幸

さとう まさゆき

4期 日本共産党



いしかわ特別支援学校知的障害教育部門高等部の移転について

Q いしかわ特別支援学校と明和特別支援学校の通学区域見直しで、保護者から「通学時間が長くなる」など不安の声が上がっている。現行通り両校を選択できる運用にせよ。

A 両校の教育環境の改善を図るため、いしかわ特別支援学校の新校舎開校に併せ、両校の通学区域を見直すこととしており、現在、保護者に対して丁寧に説明している。今後とも保護者の要望にも耳を傾け、対応できるかどうかも含め検討するとともに、保護者に対して丁寧な説明を続けていく。



不破 大仁

ふわ ひろひと

4期 自由民主党



県道の歩道除雪について

Q 金沢市内の県道の歩道除雪について、県と金沢市が連携して実施することが望まれる。両トップによる直接の話し合いで解決できないか。

A 通学路等の除雪は、地域に密着した市町が「雪みち計画」を策定し、地域の協力を得ながら行っており、県は計画が円滑に実施されるよう、小型除雪機の貸し出しを支援している。金沢市との連携については、予算的な課題もあるためいったん引き取らせていただくが、今後とも地域の実情に応じた冬季の歩行空間確保に努めていきたい。



室谷 弘幸

むろや ひろゆき

4期 自由民主党



観光政策について

Q 新幹線新駅周辺の伝統工芸産地に観光客を誘導し、産地振興を図れ。

A 山中漆器などの伝統的工芸品は石川県の重要な観光資源であることから、新幹線県内全線開業の好機をとらえ、いしかわ観光推進ファンドにより、伝統的工芸品の制作体験や職人との交流などが組み込まれた旅行商品の造成支援などを行ってまいりたいと考えている。こうした支援を通じて、人の流れをつくり、産地の振興につなげていきたい。



横山 隆也

よこやま たかや

3期 自由民主党



消防団員の確保について

Q 消防団員の確保のため、団員や家族が利用することが多い県施設を無料にする等の取り組みをしてはどうか。

A 消防団員の活動は、他に仕事をしながら、ひとたび火災や災害が発生すれば昼夜を問わず現場に駆けつけるなど、何よりもご家族の理解がなければ成り立たないと考えており、県として、どのようなことができるか、他県の状況も調べた上、検討していきたい。



一川 政之

いちかわ まさゆき

3期 未来石川



災害対策について

Q 知事就任以来の自然災害の経験を、今後、特に初動対応にどう活かしていくのか。

A 就任以来、地震や豪雨災害など4度の災害対応を経験してきたところで、初動対応の重要性は強く認識している。県下で震度5以上の地震発生で災害対策本部を自動設置しているが、大雨の場合も同様の対応が必要であり、災害対策本部の設置基準見直しを審議するとともに、4号基準による災害救助法の迅速な適用を検討したい。



長田 哲也

ながた てつや

2期 自由民主党



金沢港と周辺整備について

Q 港内の浚渫範囲拡大と無量寺ふ頭の再延長整備が必要不可欠と考える。物流基地とクルーズターミナルの距離を離すことなど、今後の展望を聞く。

A 今年度中にとりまとめる予定の金沢港将来ビジョンを踏まえ、現在、兼六園周辺に集中している金沢の観光地を分散化するためにも、港湾法に基づく分区制度を活用し、総合的に金沢港周辺のにぎわい創出を図っていきたい。



打出 喜代文

うちで きよふみ

2期 未来石川



県立図書館について

Q 来館者日本一の図書館として定着するよう、さらなる魅力向上に取り組んでほしいところだが、知事の想いを聞きたい。

A 県立図書館は、豊富な蔵書はもとより、魅力的な建物、図書館の枠にとらわれない多彩なイベントの開催などにより、幅広い世代の方々にご利用いただいている。今後も、文化立県・石川の「知の殿堂」として、より多くの県民に楽しんでいただけるよう、さまざまな工夫を凝らし、さらなる魅力向上に取り組んでいきたい。



高辻 伸行

たかつじ のぶゆき

1期 自由民主党



北陸新幹線県内全線開業について

Q 首都圏からの直通便や南加賀での停車本数の増加、関西・中京方面の特急列車に乗り換えしやすいダイヤ設定などを、JRに積極的に働きかけてほしい。

A 小松駅や加賀温泉駅における直通便停車本数の増加に向けた誘客強化に関係市町と連携して取り組むとともに、繁忙期における臨時列車の運行や停車について、JR西日本など関係機関に働きかけていく。これまでも関西・中京圏とのアクセス向上を図るよう、要請してきたところであり、今後も強く働きかけていきたい。



馬場 弘勝

ばば ひろかつ

1期 自由民主党



北陸鉄道石川線について

Q 沿線自治体と連携して早期に支援スキームの結論を出し、実行に移してほしいが、今後の県の関わり方と検討スケジュールを聞く。

A 石川中央都市圏地域公共交通協議会で、鉄道とバスの乗り継ぎ割引、キャッシュレス化など利用促進の取り組みや行政支援のあり方について年内に方向性がまとめられる予定であり、県としても、沿線自治体と意識や課題を共有し、具体策の検討にも積極的に参加して、来年1月の決定に向け協力していきたい。



県議会議員の活動は、年4回の定例会だけでなく、常任委員会や特別委員会、各種会議、議員連盟を組織し、県政のさまざまな課題や取り組みに関する審査もしています。今回はその中から常任委員会について紹介します。

常任委員会

県の施策を専門的に議論

石川県が抱える課題について専門的に効率よく議論を進めるため、5つの常任委員会を組織しています。おおむね月に1回開催し（予算委員会を除く）、県の施策などについて審査しています。

総務企画県民委員会

財政健全化、デジタル化の推進、災害対策、交通基盤の整備と活用、移住・定住の促進、文化・スポーツの振興などをテーマに審議を重ねています。



2024年春、県内全線開業となる北陸新幹線など、交通基盤の整備も重要な課題です

委員長	田中敬人	副委員長	太田臣宣
委員	馬場弘勝 石田章 太郎田真理 作野広昭 和田内幸三 福村章 盛本芳久 谷内律夫		

厚生文教委員会

結婚や子育ての支援、社会福祉の充実、学校教育の質向上、生涯学習の推進、文化財の保存・活用といった課題の解決に向けて議論しています。



家庭内で大人に代わって介護などを担う「ヤングケアラー」の支援も重要な課題です

委員長	八田知子	副委員長	長田哲也
委員	亀田豊 車幸弘 平蔵豊志 下沢佳充 紐野義昭 打出喜代文 一川政之 小松実		

環境農林建設委員会

里山里海をはじめとした豊かな環境の保全や、農林水産業の振興、金沢競馬の振興、社会基盤である道路・河川・港湾の整備などについて審議しています。



国特別天然記念物トキの能登での放鳥に向けた取り組みを推進しています

委員長	沖津千万人	副委員長	安実隆直
委員	竹田良平 堂前利昭 室谷弘幸 安居知世 宮下正博 米澤賢司 岡野定隆志 佐藤正幸		

商工観光公安委員会

中小企業の振興、雇用対策、国内外からの観光誘客、犯罪の徹底検挙や交通安全対策の強化などについて議論しています。



国際クルーズ船の受け入れが再開した金沢港クルーズターミナル

委員長	横山隆也	副委員長	清水真一路
委員	高辻伸行 不破大仁 善田善彦 中村勲 稲村建男 田中美絵子 吉田修 川裕一郎		

予算委員会

県の予算に関する審査をします。翌年度の当初予算案を議論する2月定例会では2日間（計10時間）、6・9・12月の各定例会では1日（各5時間）開催しています。

委員長	宮下正博
副委員長	室谷弘幸
委員	議長を除く全議員

県議会の活動を伝える広報紙

県議会 だより

第46号

編集・発行 / 石川県議会（年4回発行）
令和5年11月30日発行

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索



県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。

メールアドレス
gikai@pref.ishikawa.lg.jp